

# ニューズレター



きめ細かな  
支援で癒す  
心の傷

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
公益社団法人 かがわ被害者支援センター



## 公益社団法人 かがわ被害者支援センター

事件、事故等の被害者及びその家族（以下「被害者等」という。）に対して、精神的支援その他の各種支援活動を行うとともに、社会における被害者支援意識の高揚を図り、もって地域安全並びに被害者等の被害の回復及び軽減に寄与することを目的に設置された団体です。

## 被害者への思い

皆様方には、当センターの活動全般につきまして平素から格別のご支援ご協力を賜り衷心より厚くお礼を申し上げます。

昨年4月に公益社団法人として再スタートをしました当センターは、「支援を必要とされている被害者やご家族等の方々が少しでも元の生活に戻れるよう、傍にいてそっと背中を押してあげたい。」との思いのもと、電話相談、面接相談を入り口とする各種支援活動に努めてまいりました。また当センターが抱える課題に対処するため、

- 人材の確保と育成のための施策の推進
- 財政基盤の強化に資する事業の展開と活性化
- 被害者支援に対する浸透度向上のための広報啓発活動の推進

の3点を活動方針として掲げ、個々具体的な施策を展開してまいりました。

これらの取り組みは道半ばであり未だ多くの課題は残されていますが、芽が出てきている取り組みもあり、必ず皆様方のご期待に応えたいと思っています。

このような現状ではありますが平成26年度においては、誠におめでたいことが連続してありました。

一つは昨年10月、全国被害者支援ネットワーク主催の表彰式において、株式会社タダノ名誉顧問の多田野弘様が感謝状を、そして当センター次長の伊藤好美様が犯罪被害者支援功労者栄誉章をそれぞれ受賞されました。

もう一つは、本年2月、警察庁主催「第4回命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」の高校生の部において、香川県立農業経営高等学校3年

の今橋遥奈様が警察庁長官賞を、そして中学生の部では三木町立三木中学校3年の杉山愛実様が警察庁給与厚生課長賞をそれぞれ受賞されました。

いずれも被害者支援に対する強い思いをそれぞれの立場で貢献し、或いは訴えたものであります。表彰を受けられた方々を誇りに思いますとともに、心からお祝いを申し上げます。

平成27年度も同様に、明るいお知らせを皆様方にご報告ができますことを願ってやみません。

当センターとしましては今後とも、全国被害者支援ネットワークをはじめ各都道府県の支援センターと連携しつつ、犯罪被害者支援に資する広報・啓発活動、ボランティア相談員の養成・研修などをより一層推進することとしております。

皆様方には、引き続きのお力添えをよろしくお願い申し上げます。



平成27年2月

公益社団法人 かがわ被害者支援センター

理事長 木村 大三郎

(木村理事長は、平成27年3月29日、病氣療養中のところ、ご逝去されました。)

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。)



## 表 彰

### センターの支援活動が認められました

「全国犯罪被害者支援フォーラム 2014」が、平成 26 年 10 月 3 日（金）東京都内のイイノホールにおいて開催され、かがわ被害者支援センターの運営に貢献されたお二人が表彰を受けました。

### 感 謝 状

（株）タダノ名誉顧問 多田野 弘 氏

平成 15 年の当支援センター設立時から平成 21 年までの間、当支援センターの会長としてセンターの運営と財政的基盤の確立に貢献された多田野 弘氏に、全国被害者支援ネットワーク理事長から感謝状が贈呈され、株式会社タダノ企画管理部部長の友時好敬氏が代理で表彰を受けられました。



### 犯罪被害者支援功労者表彰（荣誉章）

かがわ被害者支援センター事務局次長 伊藤 好美 氏

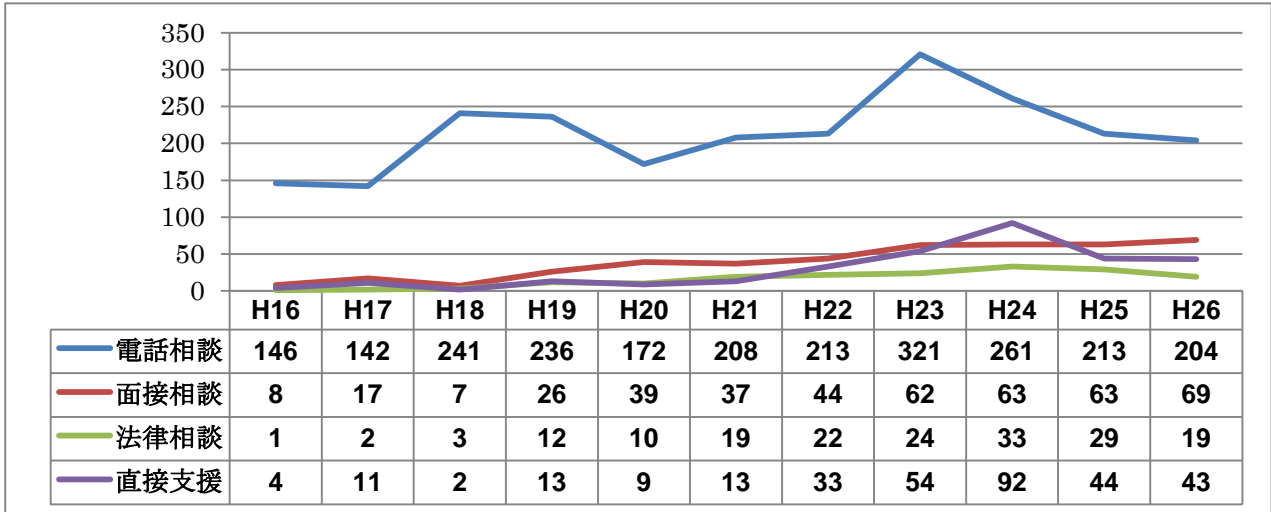


犯罪被害相談員として入職時の平成 16 年からこれまで、多年にわたり犯罪被害者支援活動に尽力した功労が認められ、全国犯罪被害者支援ネットワーク理事長から犯罪被害者支援功労者荣誉章が授与されました。

# 活 動

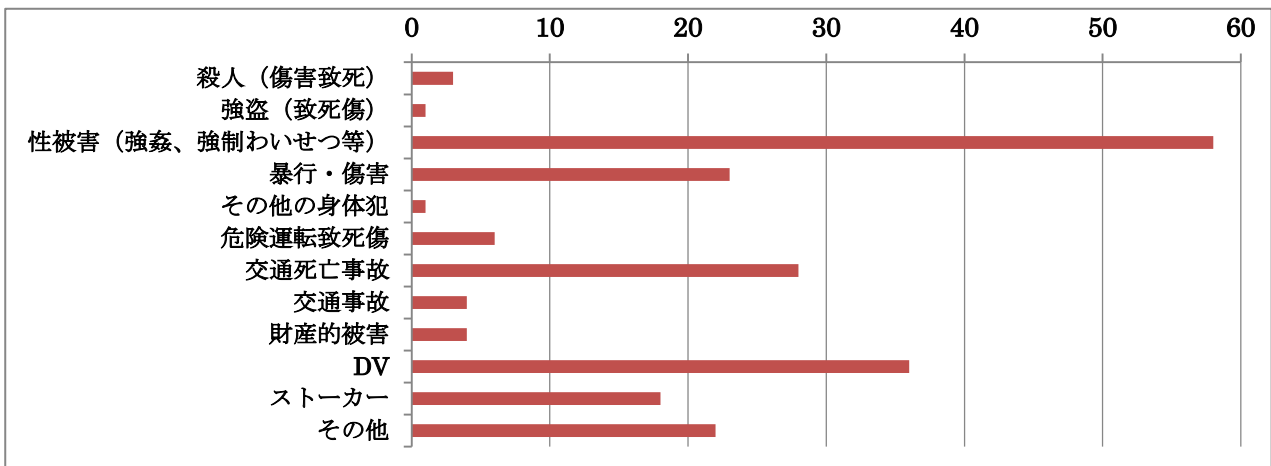
## 1 年次別相談件数の推移

相談受理件数は、10年前に比べ、電話相談 1.4 倍、面接相談 8.6 倍、法律相談 19 倍、直接支援 11 倍に増加しています。



## 2 電話相談内容別受理件数（平成 26 年中）

電話相談の内容を被害罪種別にみえますと、性被害（強姦、強制わいせつ等）やDV、交通死亡事故に関する相談が多くなっています。



## 3 直接的支援実施状況（平成 26 年中）

行政窓口等への付き添い、裁判所関連支援が直接的支援全体の 65%を占めています。

| 支援内容        | 件数 |
|-------------|----|
| 行政窓口等への付き添い | 15 |
| 裁判所関連支援     | 13 |
| 警察関連支援      | 7  |
| 病院付き添い      | 2  |
| 自宅訪問        | 2  |
| その他         | 4  |

# 研 修

## 犯罪被害者支援活動員養成講座

- ◆ 5月15日～10月2日の間8回開催  
【講師：香川県職員、警察官、弁護士、大学教授、臨床心理士、他県の被害者支援センター支援員、被害者ご遺族など】



## 継続研修

- ◆ 隔月開催【講師：検察庁職員、警察官、弁護士、大学教授など】  
<毎回13名位参加>

## 全国被害者支援ネットワーク研修

- ◆ 新任事務局長研修、被害者支援センター等全国事務局長会議（7/25）東京開催 <1名参加>
- ◆ 中国・四国ブロック事務局長会議（9/19）島根県開催 <1名参加>
- ◆ 全国被害者支援ネットワーク「質の向上研修上半期」中国・四国ブロック研修会（9/20、21）島根県開催<5名参加>
- ◆ 全国犯罪被害者支援フォーラム2014及び秋季研修会（10/3、4、5）東京開催 <5名参加>
- ◆ 中国・四国ブロック専務理事、事務局長会議（1/30）岡山県開催 <1名参加>
- ◆ 全国被害者支援ネットワーク「質の向上研修下半期」中国・四国ブロック研修会（1/31、2/1）岡山県開催 <5名参加>

## その他の研修

- ◆ 犯罪被害者施策研修会（11/13）香川県開催 <1名参加>
- ◆ 直接的支援実地研修（12/8～12/12）（公社）被害者支援都民センター開催：東京 <1名参加>
- ◆ 内閣府主催「性犯罪被害者支援体制整備促進事業」研修会（2/25、26）（大阪開催） <1名参加>
- ◆ 直接的支援実地研修（3/9、10）広島県 <2名参加>

# 講演会

## ◆ (公社)かがわ被害者支援センター 設立記念講演会

香川県社会福祉総合センター(6/9)



講師：井上保孝、郁美ご夫妻

演題

「東名高速酒酔いトラック事故で子ども二人を失って  
～被害者遺族になって感じたこと～」

## ◆ 犯罪被害者週間講演会

香川県社会福祉総合センター(11/26)



講師：江角由利子 氏

演題

「亡くなった娘からの生命のメッセージ」

## 講話

| 月   | 対象者        | 月   | 対象者                |
|-----|------------|-----|--------------------|
| 5月  | 琴平ロータリークラブ | 10月 | 香川県警察学校専科生         |
| 6月  | 四国管区警察学校学生 | 11月 | 小豆警察署被害者支援連絡協議会会員  |
| 9月  | 高松南警察署職員   | 12月 | 琴平警察署被害者支援連絡協議会会員  |
| 10月 | 四国管区警察学校学生 | 1月  | さぬき警察署被害者支援連絡協議会会員 |

## 関係機関との連携

- ◆ 香川県弁護士会被害者支援委員会、テーマ研究会（毎月1回：隔月：弁護士会館）
- ◆ 香川県被害者支援連絡協議会（7月：香川県警察本部）
- ◆ 警察と産婦人科医との連絡協議会（1月：香川県警察本部）



# 広報啓発

- ◆ パネル展：県庁ロビー  
(11/17～11/21)



- ◆ 生命のメッセージ展 in 香川：高松市役所1階ロビー (11/26～11/28)



- ◆ 人権フェスタにおけるパネル展  
サンポート高松 (12/7)

# 受賞

## 第4回「命の大切さを学ぶ教室」全国作文コンクール（警察庁主催）

同コンクールは、犯罪被害者らが実体験を語る「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中・高校生の作文が全国から約1万点寄せられ、県内から2人が受賞されました。

### <高校生の部>

警察庁長官賞（優秀賞）

農業経営高校3年生 今橋遥奈さん

自分の息子を亡くした時の話をされていた竹治さんの表情に何となく覚えがあった。

私の妹、自分の娘が病気で死んだ時の母親の顔。それに似ているような気がした。

まだ一歳の妹が病気で死んだと聞かされた時、まだ幼かった私は何にも分からなかった。死ぬということがどういうことなのかよく分からなかった。だから、あんまり悲しくなかった。でも母親は泣いていた。父親も泣いていた。それで、よく分からないけどとても大変なことが起きたというのは子どもながら何となく分かった。今思うと本当に大変なことだった。子どもを亡くした辛さってどんなものなんだろうと思った。高校生になっても妹と遊んだ時のことはまだ覚えている。ずっと覚えている。「妹がもし生きていたら、今どんなふうになっていたんだろう。」とたまに考える。

講演中の竹治さんを見ていた時に、竹治さんが母親と重なって見えた。楽しいことやおもしろかったことなど、ずっととどめておきたい感情ほど時間が経つと薄れていってしまうのに、悲しいことや辛い感情はいつまでもたっても色濃く心の中に残っているのだと、母親を見てきて強く印象づけられていた。同じものを竹治さんにも感じた。

息子さんを集団暴行で失った竹治さんの悲しみは計り知れない。たった一度の事件が、竹治さんたちに消えない傷を負わせた。体を壊してしまうほど後悔の念を抱いたお姉さんの気持ちは、きっと私の想像の範囲に収まらない。一度失った命は戻らないし、お金で買い戻すこともできない。加害者がどんなものをもってしても、命と同じ重さの償いは絶対にできない。被害者は一生元の生活に戻ることができなくなる。この苦しみは自分の身で実際に経験しないと、本当の意味で理解することはできないと思う。竹治さんにとってその事件は、忘れたくても忘れられない出来事だったはずである。それを、竹治さんは話してくださった。私たちが同じような過ちを繰り返さないために。話をする度に苦しんだ記憶が蘇って、また辛い思いをするはずなのに。

毎日、当たり前のように事故や事件などが起きている。新聞やニュースで幾度となくそれを耳にするが、私たちは人ごとだと思って気にもとめず、すぐに忘れてしまうことが多い。でも被害者自身から語られる事件というものは、テレビの映像よりも鮮明で身近に感じられる。実際に経験してきた人の生きた言葉ほど心が突き動かされるものはない。

竹治さんのお話には、絶対に加害者にはならないという強い気持ちを私たちに持ってほしい、という思いが込められていた。被害者がなくなる社会を目指してほしいと訴えられていた。私たちはもっと命の大切さについて考えていかなければならない。命と直接ふれあうことが、命の大切さを知る上で一番大事なことだと思う。

現在、私は農業経営高校で農業について学んでいる。作物の栽培や家畜の飼育を通して命とふれあう機会を持っている。それらの命を育てるために大変な労力を必要としていることを体験した。命の犠牲で私たちの生活が成り立っていることも、もう知っている。また、今私が高校で経験している寮生活の中でも、学んだことは数え切れないほどあった。教えたり、教えられたり、傷ついたり、傷つけられたり……。同じ日を繰り返したことなど一度もない。人や生き物と接しているからこそ私は毎日変わっていきけるのだと思う。

今回、竹治さんは自らの体験を通して命の大切さを伝えてくださった。私の経験と状況は全く違うけれど、この話をまっすぐに受け止めたい。そして、被害者にも加害者にもなることのないよう、命の大切さについてもっと考えてみようと思う。





## <中学生の部>

### 警察庁給与厚生課長賞

三木中学校3年生

杉山愛実さん

私は、交通事故で亡くなった美香さんの話を聞いて、いろいろな思いが頭の中を駆けめぐった。

亡くなった美香さんのこと。傷つけられ、痛かっただろう。納得できなかっただろう。これからたくさんしたいことや夢があっただろう。約一週間も痛みと戦い、力つきた最期の時、何を思って去ったのだろう。こんな終わり方は、つらすぎる。

残された家族のこと。いつもいるはずの大切な人がいなくなる。それは、当たり前だった日常の喜びが失われるということ。それまでのように過ごせるわけがない。たとえ「生きる」ことができても、「笑う」ことはできない。それが「誰」かのせいなら、憎しみで自分を見失うかもしれない。私は身近な人の死を想像するだけで頭の中が真っ白になる。

裁判で淡々と事実を話したという加害者のこと。家族にとって、大切な宝だった美香さんの存在を、わざとでなかったとしても、結果的に消してしまった加害者。申し訳なさそうにしないのはなぜだろうか。あまりに大きい過ちの原因が自分であることを認める勇気がないのか。残された人は、大切な人の死を一生心に抱えながら生きていかなければならないのに。加害者はその傷を少しでも修復する気はないのだろうか。経験していない私でさえ納得できず、怒りでいっぱいになるのに、美香さんの家族がどんな思いで加害者と向き合ったのか、想像すらできない。

「事故で〇〇死亡」「〇〇ひき逃げ」新聞でよく見る見出しだ。そこで亡くなった一人一人に生活があり、大切な家族がいる。失われた命と共に多くの幸せが消え、その何倍もの悲しみや憎しみが生まれる。私が生きているこの世界で、今、私が考えたような抱えきれない思いと共に生きている人たちが大勢いる、そう思うと胸が張り裂けそうになる。私が今家族と一緒に過ごしている毎日は、「運」が悪ければ「誰」かによって壊されるものなのか。それは絶対許されない。美香さんの話を聞いた直後は、その事実から目をそらしている自分がいた。たくさん悲しい現実が胸に突き刺さり、堪えられなかったからだ。でも、ちゃんと直視しなければいけない。世の中のどの「人」も自分と自分の周りの人たちと同じように、かけがえのない決して失いたくない「命」だからだ。美香さんのような悲劇が起こらないようにするために「人」に対するこの「想い」が大切なのではないか。今私がすべきこと。一つ目は悲しみを抱えながら一生懸命生きている人がいるという事実を知り、その思いを受け止め、共有すること。二つ目は、「人」を想い、行動すること。そしてその「想い」を周りの人たちに伝えること。これ以上悲しみが増えないようにするために。



## 「命の大切さを学ぶ教室」開催結果(平成 26 年度)

香川県警察と連携して、中学生・高校生を対象にした「命の大切さを学ぶ教室」を中学校 5 校、高校 6 校の計 11 校で実施しました。

講師は交通事故被害者遺族の徳永順子さんや、少年犯罪被害者遺族の市原千代子さん、一井彩子さんにお願ひしました。

生徒達は真剣な表情で遺族の話を聴き、改めて命の大切さを学び、犯罪や事故を起こしてはならないという意識の向上を図ることが出来ました。



実

施

校

| 開催月  | 中学校         | 開催月  | 高校       |
|------|-------------|------|----------|
| 5 月  | まんのう町立琴南中学校 | 10 月 | 県立丸亀城西高校 |
| 5 月  | 三豊市立豊中中学校   | 10 月 | 県立高松工芸高校 |
| 6 月  | 丸亀市立南中学校    | 11 月 | 県立笠田高校   |
| 6 月  | 三木町立三木中学校   | 12 月 | 県立香川中央高校 |
| 12 月 | 高松市立勝賀中学校   | 12 月 | 県立高松南高校  |
|      |             | 1 月  | 県立多度津高校  |

### 平成 27 年度 実施校募集中!

平成 27 年度も 10 校程度の中学校、高校で開催を予定しています。

全校生、学年対象どちらでも可能です。講師への依頼や送迎などは当支援センターと県警察が行います。

実施についてのご依頼やご質問がある場合は、ご説明にお伺ひしますので、ご連絡をお願いします。

<連絡先>

(公社) かがわ被害者支援センター事務局 (087) 897-7790

# ご 紹 介

## 正会員・賛助会員・寄附者のご紹介【団体】

(敬称略、順不同)

### ■正会員

香川県安全運転管理連絡協議会  
香川県警友会連合会  
香川県商工会議所連合会  
香川県弁護士会  
(一社) 香川県医師会  
(一社) 香川県経済同友会  
(一社) 香川県警備業協会  
(一社) 香川県指定自動車学校協会  
(一社) 香川県トラック協会  
(一財) 香川県交通安全協会  
(公財) 香川県防犯協会連合会  
(公財) 香川県暴力追放運動推進センター  
(医社) 昌樹会ウツミ整形外科医院  
(株) 香川銀行  
(株) 四国新聞社  
(株) たいよう共済香川支店  
(株) タダノ  
(株) 百十四銀行  
牟禮印刷 (株)  
四国電力(株)  
四国旅客鉄道(株)  
ネットヨタ高松(株)  
野村証券(株)高松支店  
高松信用金庫

以上 24 団体

### ■賛助会員【団体】

(有)ジュエルヒラタ  
タチバナ工業(株)  
(株)田中海事  
日本司法支援センター香川地方事務所  
(法テラス香川)  
香川県婦人団体連絡協議会  
平成機工(株)  
三木さぬきライオンズクラブ  
香川県遊技業協同組合  
Y & A PRODUCTS  
高松ゾンタ  
ツツミ医院  
三宅医院 (多度津町)  
こころの相談室リップル高松

以上の団体のほか、多数の個人の方からもご寄附をいただいております。



## 設置のお願い

「**かがわ被害者支援自動販売機**」(寄附金付き自動販売機)の設置にご協力をお願いします。

### 被害者支援 自動販売機

清涼飲料水の売上金の一部を「かがわ被害者支援センター」が寄附を受ける仕組みです。

設置にご協力いただける企業・団体そして、個人の方々を募集しています。寄附金は、被害者等の支援のために活用させていただきます。

### 設 方 置 法

いたって簡単で、賛同する旨のご連絡をいただければ、いま設置されている自動販売機の各メーカーと相談させていただき、協定を結ばばすぐに実現できます。

増設の場合はもっと簡単で、ご連絡をいただければ、各メーカーに紹介して新たな自動販売機を設置させていただきます。

ご支援いただける場合は、当センター **(087-897-7790)** までご連絡をお願いします。

### 現在の「被害者支援自動販売機」設置場所

被害者支援自動販売機を設置していただくことによって、社会貢献をされている企業・団体及び個人の方々です。

設置にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

(順不同、敬称略)

- 警察施設  
(四国管区警察局、香川県警察本部、各警察署、香川県警察学校)
- 東洋工業(株)  
(本社、三木工場)
- (株)播州電機
- オレンジタウンゴルフセンター
- ニコニコライフ高松
- (有)四国ハニー
- ネットヨタ高松(株)  
(もみの木店、オリーブ店、さつき店)
- (老福)真清水荘
- 医療法人社団たけお会岩佐病院
- 都村製作所(株)
- まんのう町役場職員組合
- 高橋石油(株)  
(本社、松縄店、大塚店)
- 医療法人社団誠和会中野外科胃腸科医院



- さんがわ自動車学校
- (株)パジェットレンタカー四国本社
- 三菱化学(株)坂出事業所
- (株)フレッシュデポ  
(宇多津事業所、綾川事業所)
- 綾川町商工会
- 高松自動車学校
- (株)アムロン鉄鋼本部テクノ多度津
- (株)えびす石材土木
- YKK AP(株)四国事業所
- (有)佐藤建材運輸
- 少林寺拳法坂出専修道院
- 岡本カイロプラクティック院
- 社会福祉法人敬世会特別養護老人ホームきやま
- (有)川津土建
- 香川舗道(株)高松営業所
- 坂出国際ホテル
- 美容室ライフステージ
- リューテックサービスセンター
- 東かがわ市役所
- 宮川製麺所
- 香川県農業協同組合  
〔 塩上支店、中央地区営農センター、太田支店、本店一宮別館  
ふれあいセンター高松市中央店、白鳥支店、讃さん広場 〕
- ルビー商會
- (株)村上組
- (株)エムケーインデクト三木リサイクルプラント
- 高島総業(株)
- 山下うどん
- さぬき市民病院
- 志度ゴルフセンター
- (一社)坂出市医師会
- (有)マイルドケア
- (有)中西製麺
- ツツミ医院
- まえだ整形外科医院
- 飯山北地区コミュニティ推進協議会
- (医療法人社団)豊南会 香川井下病院



この自販機のジュースを  
買ったら、困っている  
被害者の役に立つんだよ！

<協力清涼飲料水メーカー> (順不同、敬称略)

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| ■ 四国コカ・コーラボトリング(株)     | ■ 四国キャンティーン(株)  |
| ■ 香川ペプシコーラ販売(株)        | ■ (株)伊藤園        |
| ■ (株)ジャパンビバレッジホールディングス |                 |
| ■ (株)フジタ商事             | ■ (株)ワールドフーズ    |
| ■ (株)光洋                | ■ (株)ウェストアライアンス |

いつ、だれの身に・・・

## 犯罪被害による苦しみは深刻 ぜひとも支援が必要です

毎日のように凶悪事件が報道される昨今、思いがけない犯罪被害により耐え難い苦悩を背負わされた犯罪被害者が増え続けています。

いつ犯罪被害者になるかもしれない不安が現実のものとなっており、みんなで助け合って、社会全体で犯罪被害者を支えていかなければなりません。

当センターは、「犯罪被害者に手を差し伸べたい!」と考えていらっしゃる県民の皆様からの会費・寄附金などにより運営しています。

皆様の一層のご支援をお待ちしています。

## ご支援、ご協力をお願いします!

当センターは、皆様からの会費・寄附金などにより運営しています。被害者の方が安心して相談できるセンターでありたいと思っています。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

- ◎ 賛助会員      個人    一口   千円より  
                         団体    一口   一万円
- ◎ 寄附金        随時お受けしています

### <税制上の優遇措置について>

当センターへの賛助会費、寄附金は、特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄附優遇措置の対象になり、また、個人の方からの賛助会費、寄附金は、所得控除の対象になります。詳しくは国税庁のHPでご確認ください。

### 会費・寄附振込先

お振込先： ゆうちょ銀行  
口座番号： 01620-0-9852  
口座名義： 公益社団法人  
かがわ被害者支援センター

### 【お問合せ先】

香川県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体  
公益社団法人 かがわ被害者支援センター事務局  
760-0018 高松市天神前7番18号合田ビル 2階  
TEL 087-897-7790 ・ FAX 087-897-7778



# お知らせ

## 平成 27 年度 ボランティア被害者支援員養成講座（入門編、初級編）

かがわ被害者支援センターでは、毎年、支援者養成のための「ボランティア電話相談員養成講座」を開講します。

### ◆ 日程

平成 27 年 5 月 12 日（火）～同年 10 月 27 日（火） 全 10 回

※ 午後 1 時～午後 4 時

※ 全日程とも火曜日に開催予定です。

### ◆ 場所

香川県社会福祉総合センター、かがわ被害者支援センター研修室

### ◆ 講座内容

- ・被害者支援の現状
- ・被害者への理解を深める
- ・被害者支援の取組み
- ・知識、連携
- ・支援技術 など

### ◆ 講師

- ・県職員
- ・警察官
- ・弁護士
- ・大学教授
- ・臨床心理士 など

### ◆ 受講料

無料

### 受講を希望される方のお問合せ先

(公社) かがわ被害者支援センター事務局

電話 087-897-7790

までお気軽にご連絡下さい。

.... 一人で悩まずお電話ください ....

～ 犯罪や事故にあわれた方やご家族のための相談電話です ～

**相談電話 087-897-7799**

**(平日 10:00～16:00)**

**相談・支援無料 秘密厳守**

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
公益社団法人 **かがわ被害者支援センター**  
<http://www4.ocn.ne.jp/~kagawa/>